

会津若松市街地における 除雪業務改善のための対応策について

令和7年10月

目 次

1. はじめに	3
2. 除雪業務改善に向けた取り組み	4
3. 事前アンケート及び第 1 回検討会で抽出した課題について	6
4. 対応方針編	7
5. 関係資料編	27

1. はじめに

令和7年2月4日から大雪により、会津地方を中心とした非常に短期間で集中的な降雪があり、会津若松市や金山町では、観測史上最高の積雪深を記録するなど、災害旧の降雪となりました。特に市街地部においては、雪の押し場がなくなり、車両のすれ違いが困難な状態になるなど、交通障害が発生しました。さらには、路線バスの運休やゴミ収集が一部停止になるなど、日常生活にも大きな影響を及ぼしました。

会津若松建設事務所では上記大雪を踏まえ、短期間で集中的な降雪による対応や現状の課題改善に向けて、会津若松市をはじめとする関係機関からなる「会津若松市街地部における除雪業務改善に関する検討会」を開催し、令和7年2月大雪の検証を行い、大雪時における除雪業務の改善に取り組みを行いました。

2. 除雪業務改善に向けた取り組み

以下の検討会を通し、会津若松市街地における除雪業務の改善の取り組みを実施した。

【会津若松市街地における除雪業務改善に関する検討会】

構成員 会津若松建設事務所、会津若松市危機管理課、会津若松市道路課

会津若松警察署、会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部

福島県建設業協会若松支部、会津若松市建設業組合、会津乗合自動車（株）

令和7年 4月24日 第1回検討会：アンケート結果報告、課題抽出

令和7年 8月 6日 第2回検討会：課題に対する対応案の提示

令和7年10月15日 第3回検討会：課題に対する対応案の提示、役割分担の設定

令和7年10月31日 第4回検討会：課題に対する方針決定（書面開催）

令和7年11月 除雪事業計画書を策定

なお、県土木部では、以下の検討会を通し、除雪業務改善の取り組みを実施した。

【除雪業務改善に関する検討会】

構成員 道路管理課、土木企画課

県北建設事務所、吾妻土湯道路管理署、県中建設事務所

会津若松建設事務所、宮下土木事務所、喜多方建設事務所、大峠道路管理所

猪苗代土木事務所、南会津建設事務所、山口土木事務所

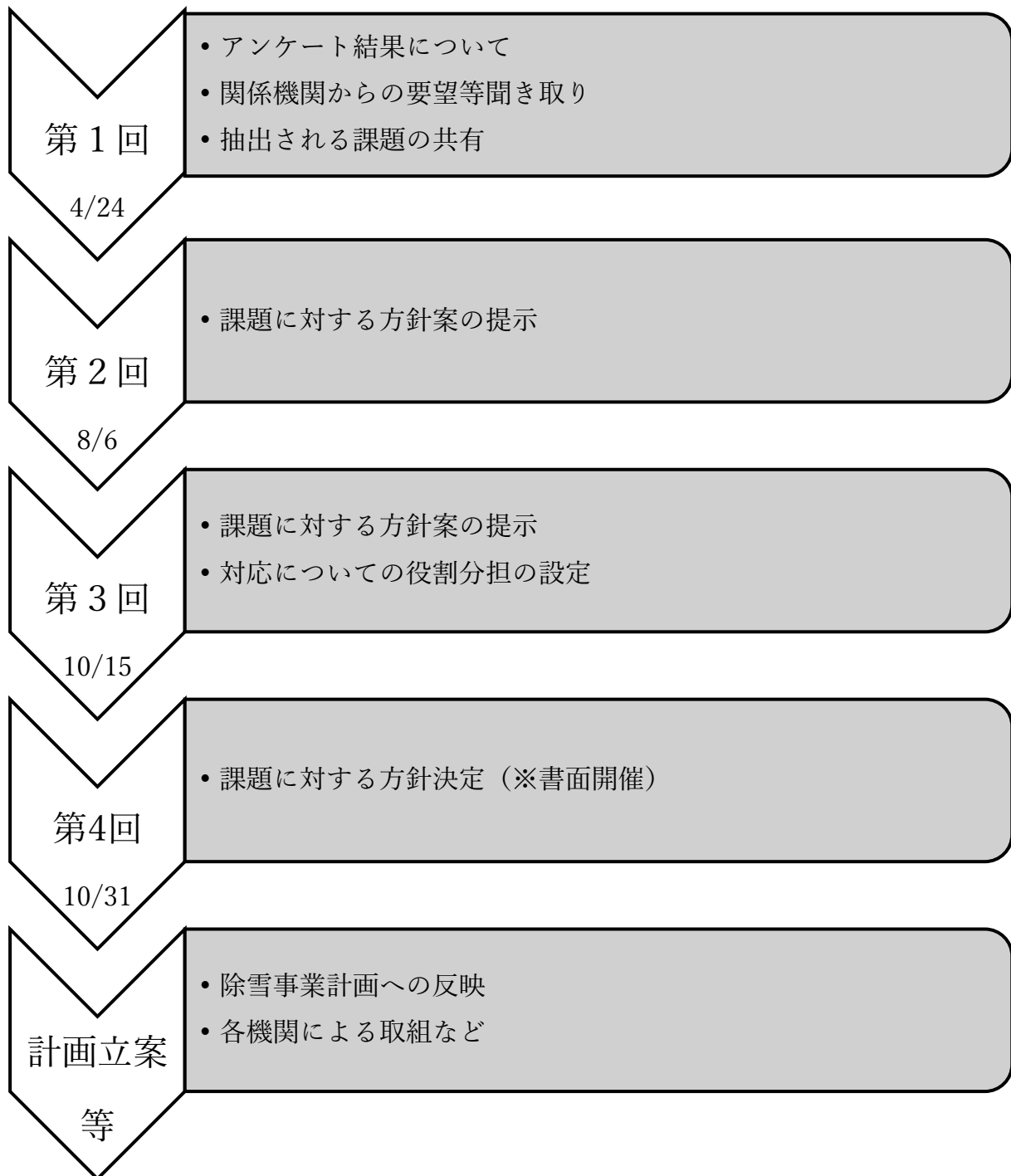
令和7年 4月23日 第1回検討会：問題点問題意識の共有・改善すべき課題を抽出

令和7年 7月 9日 第2回検討会：第1回検討会で抽出した課題の対応方針を決定

令和7年10月24日 第3回検討会：課題に対する対応案の提示・役割分担の設定

令和7年11月 除雪事業計画書を策定

会津若松市街地部における除雪業務改善に関する検討会について



3. 事前アンケート及び第1回検討会で抽出した課題について

課題1 集中除排雪の実施

<主な意見>

- 対象路線を予め決定・周知することにより、緊急車両や公共交通機関の運行がスムーズに行える。
- 雪捨て場や緊急医療機関へのアクセス路線は優先順位を高く設定する必要がある。
- 線的な排雪に加え、面的（住宅地内）の排雪を関係者連携により実施すべき。

課題2 雪捨て場の確保

<主な意見>

- 市街地及び各地区へ雪捨て場が必要。
- 排雪作業は夜間実施となるため、夜間も利用できる雪捨て場の設定。
- 利用者種別ごとの雪捨て場の設置が必要。（民間と公共）

課題3 関係機関との円滑な連携体制の構築

<主な意見等>

- 集中除雪だけでなく、除雪の実施区間や路面状況等について情報を共有してほしい。
- スタック車両の救助について除雪車両を活用して対応してほしい。

課題4 住民理解の促進と協力体制の強化

<主な意見等>

- 屋根雪「落雪対応」や民地から「道路への雪だし」への対応について検討すべき。
- 牽引ロープを装備しない車両やノーマルタイヤの車両に対して指導する必要がある。
- 大雪時の不要不急の外出抑制を呼び掛ける必要がある。
- 集中除雪を行う際の通行止めの予告について大々的に広報する必要がある。